

# 京都ボランティア協会2017年度事業計画

目次:

前文	…1ページ
<b>&lt;事業&gt;</b>	
1 【ボランティアコーディネート事業】	…2ページ
2 【援助・交流事業】	…2ページ
3 【広報事業】	…3ページ
4 【研修事業】	…4ページ
5 【研究事業】	…4ページ
6 【地域における社会福祉の推進事業】	
7 【評価・調査事業を通じ社会福祉を推進する事業】	…5ページ
8 【企業・労働組合の社会貢献活動の推進】	…6ページ
<b>&lt;組織・運営&gt;</b>	
1 【組織・運営体制整備】	…6ページ

## 京都ボランティア協会 2017年度事業計画

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向け、地域でも様々な政策、施策、事業が展開・検討されている。

当協会としては、2017 年度は、定款に定められた当法人の目的である、「ボランティア活動の普及及び充実を図り、もって地域社会における社会福祉を推進するとともに、豊かな京都府の地域社会を創造する」に基づき、ボランティア活動を中心とした公益事業の充実を図るため、引き続き種々の事業活動を行う。

また、2016 年度に順延された「きょうボラ祭（仮）」を開催し、2017 年 4 月には全国的に実施される「介護予防・日常生活支援総合事業」への取組みについての検討を行うこととする。

## <事業>

### 【1. ボランティアコーディネート事業】

事業項目	事業目的	事業内容
ボランティアコーディネートの実施  在宅でのボランティア活動  グループ活動(協会内外)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">通年・継続</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の啓発と推進。</li> <li>・地域で困難を抱える人たちとのボランティア活動を通じての交流、ひいては社会貢献。</li> <li>・ボランティア登録者継続と増加を推進。特に在宅生活者の依頼に応える、寄り添うボランティアの増加をはかる。</li> <li>・相談業務等から見える生活・福祉ニーズの把握と分析。</li> <li>・地域資源の把握(新たなボランティア活動先、受入先の開拓など)</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ボランティア相談(ボランティア活動希望者およびボランティア依頼者からの相談)を行う。</li> <li>②ボランティア学習会・研修会等を実施する。</li> <li>③介護保険改正に伴う対応策(京都市介護予防・日常生活支援総合事業)を検討する。</li> <li>④ボランティア登録者の増員と交流を図る。</li> <li>⑤ボランティアコーディネート事業体制を整備する。</li> <li>⑥福祉ボランティアセンターとの連携を図る。</li> <li>⑦「きょうボラ」を発行(年4～5回)する。</li> <li>⑧大学・地域等への事業紹介等広報活動を実施する。</li> </ol>

### 【2. 交流・援助事業】

事業項目	事業目的	事業内容
「第9回きょうボラ祭(仮)」開催 2017.11開催予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなボランティアスタッフの人材発掘と育成。</li> <li>・ボランティア、関係団体、企業等との交流、連携推進。</li> <li>・新たな活動の創造・発信。</li> <li>・ボランティア中心に、祭準備段階から企画・運営を参加団体と実行委員会・事務局が連携強化。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ボランティアスタッフ等の募集と学習会を行う。</li> <li>②実行委員会(企画・運営)を設置する。</li> </ol>

<p>通年・継続</p>	<p>「きょうボラ祭(仮)」企画内容変更、運営、作業ボランティア募集！！</p>	<p>③祭のホームページを管理する。 ④バザー物品、抽選物品を確保する。 ⑤広報の充実(パンフレット・ちらし他)を図る。 ⑥福祉ボランティアフェスタ1参加団体として参加する。 ⑦祭記録・報告書を作成する。</p>
<p>サロン活動(ボランティアビューロー活性化) 「ねこのてさろん」の運営</p>	<p>・多様な興味や関心を持つ人たちとの交流を通じた「居場所」や仲間づくり。 ・多様なメニュー企画立案作りによる人材及び団体交流。 ・お互い様精神復活。</p> <p>「ねこのてさろん」企画・運営ボランティア募</p>	<p>①単発活動企画の年間計画化を図る。 ②居場所機能の活性化(メンバー募集、仲間作り等)を図る。 ③活動グループ化、自主運営化を図る。 ④新規グループ作りを図る。</p>

### 【3. 広報事業】

事業項目	事業目的	事業内容
「ボラタス」他広報事業	<p>・「ボラタス」「きょうボラ」他媒体による情報提供と発信。 ・ホームページにて情報の公表を行い広く市民への広報活動。</p>	<p>「ボラタス」を発行(年4～5回)する。 「きょうボラ」を発行(年4～5回)する。 ホームページを管理する。</p>

【4. 研修事業】

事業項目	事業目的	事業内容
華頂高等学校ボランティア講座への講師派遣  後期・継続	・身近に行われているボランティア活動を学び、活動を通し気づき、共感する心の育成。 ・身近な地域での福祉活動や、高齢者・障がい者・児童領域の現状に対する障害当事者や活動団体からの学び。 ・ボランティア養成講座の継続。	高校1年生全員90名を対象に「総合華頂探究」という総合学習の中に位置づけられている授業である。(授業は年2日間である。)内容は ①ボランティア活動の基本的精神や意義、取組みや課題を学び、ボランティア活動に親しむ。 ②認知症・障害者や家族・地域が抱える生活課題を理解し、支援のための活動を当事者や支援団体から学び、体験や交流を通し、ボランティア活動への関心や動機づけに繋げる。
高齢者・障がい者・子ども分野講座実施	・各領域で求められるボランティア像を知り、実践や体験活動を取り入れ、人材発掘の機会の増加。 ・各領域の課題を学び、ボランティアグループ、NPO団体との連携の推進。 ・「心の栄養支援養成講座」連続シリーズ継続+障害編の継続。	・ボランティア活動にあたって知識・技術を身につける講座・研修を開催する。 ・各領域の現場で当面している課題を現場から学ぶ。 ・ボランティア研鑽とボランティア同士の交流、特に福祉領域のボランティア活動者の敷居を低くし、互いに支えあう活動を増やす。 ・地域生活で求められているボランティアを知る機会をつくる。 ・在宅生活を豊かにすることをお手伝いできるボランティアを知り、実践や体験活動を取り入れた内容の講座づくりをする。
ワタキューグループ新入社員研修(5/9～5/23) 福祉施設ボランティア体験講座の企画・講師派遣7回目	・ボランティア精神を学び、座学や体験活動を通じての「人間力」育成。 ・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。	・ボランティア活動の意義を知り、実際に体験活動を通じて現場の職員や当事者と接する機会を通じて交流する。 ・社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会を提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)する。 ・ボランティア活動や講座の情報提供を発信する。

【5. 研究事業】

事業項目	事業目的	事業内容
新規事業に関する調査研究 ①京都市マーケット回収事業 ②高齢者と社会的に不安を抱く若者をつくる居場所づくり(セルフヘルプセンターの一環事業)	① ・手軽に出来るボランティア、だれでも出来るエコ・リサイクル活動である京都市マーケット回収事業の継続。 ・地域住民に社会貢献活動の啓発や就労支援の活動(障がい者とともに)として研究課題(京都市の助成金交付対象)。 ②ボランティアビューローのサロン事業の活動(認知症やひきこもりなどの予防等)。	①京都市マーケット回収(ゴミ減量推進活動) 京都市では、「ごみ量をピーク時の半分以下まで減らす」という目標を掲げている。 古紙・古着等は、地域の集団回収(コミュニティ回収)を奨励している。減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。 ②地域の高齢者や障害者が手軽に来れるサロン(例:趣味・お話し相手等)で認知症やひきこもりなどの予防を図る。

ボランティアコーディネートに関する調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の啓発と推進。</li> <li>・地域で困難を抱える人たちとのボランティア活動を通じての交流等。(社会貢献活動)</li> </ul> (【1. ボランティアコーディネート事業】)の再掲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当協会のコーディネートの範囲が広いいため、各分野の検討を行う。</li> </ul>
---------------------	--	--

**【6. 地域福祉推進事業】**

事業項目	事業目的	事業内容
災害支援活動	人的支援・物的支援等の後方支援。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募金活動を行う。</li> <li>・事業開催時に募金箱を設置する。</li> </ul>

**【7. 地域密着型外部評価、介護・福祉サービス第三者評価事業】**

事業項目	事業目的	事業内容
地域密着型外部評価事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い評価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価員の研修体制の充実を図る。</li> </ul>
介護サービス第三者評価事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い評価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価員の研修体制の充実を図る。</li> </ul>
福祉サービス第三者評価事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い評価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価員の研修体制の充実を図る。</li> </ul>
評価・調査事業の管理・運営体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な事務運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価・調査機関としての事務体制を整備する。</li> </ul>

【8. 企業・労働組合の社会貢献活動の推進】

事業項目	事業目的	事業内容
企業・労働組合の協働と交流	・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。	①協会事業(祭等)への参加および企画等への参画を図る。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会を提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)する。 ③ボランティア活動や講座の情報を提供する。
災害支援活動		

<組織・運営>

【1. 組織・運営体制整備】

事業項目	事業目的	事業内容
組織基盤の強化	・会員増員・確保に取組み組織基盤の強化。 (賛助会員の拡大)	①会員拡大委員会の設置を検討する。 ②イベント等参加団体・者への会員案内・勧誘を行う。 ③各新聞社・関係団体の広報媒体を活用する。 ④理事、会員との交流の機会を設ける。
運営体制の整備	・ボランティアと協調しつつ、迅速効率的な事務執行体制を築き、運営体制の整備。	①一般社団法人移行後の公益事業の活性化を図る。 ②事務局体制の整備(人員の補強)を図る。 ③理事、ボランティアスタッフ、事務局員との連携強化を図る。 ④ボランティアスタッフ研修会を実施する。 ⑤評価事業の管理・運営体制を整備する。  (再掲)
ボランティアビューロー・3階のボランティアセンターの一部の管理・運営	・有効な管理運営及び友好的で開放的な場の構築。	①利用状況を把握・管理する。 ②広報物を掲示・整理する。 ③ボランティアビューロー活性化事業を促進する。
財源の確保	・財源確保による安定的事業運営。	①助成金を確保する。 ②ボランティア団体賠償保険の加入勧誘を行う。 ③会員拡大を図る。

